

教育委員会事務局発注委託の入札取消について

1 概要

教育委員会事務局学校計画課で発注した業務委託において、令和5年10月26日（木）に開札を行い、落札者を決定しました。その後、開札手続に瑕疵があったことが判明したため、10月26日（木）に入札の取消を行いました。

関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

2 件名

学校計画課ホームページにおける検索システム構築業務委託  
(住宅から就学すべき学校を検索、もしくは学校名から通学区域を検索するシステム)

3 経過

令和5年10月26日（木）10時00分	入札（6者入札）
令和5年10月26日（木）10時10分	落札者（A社）及び落札価格を発表
令和5年10月26日（木）10時15分	解散後、入札した別の事業者（B社）からA社の価格より低い金額で入札をしたと申出があったため、確認をしたところ、B社の入札書が入札箱に残っていたことが判明。B社の価格がA社の価格より低いことを確認
令和5年10月26日（木）12時頃	入札者6者に対し、落札者が変更になることを連絡
令和5年10月26日（木）13時頃	他の入札者（C社）からA社の価格より低い金額で入札をしたと連絡を受け、改めて入札書を確認したところ、C社の入札金額が最低入札価格だったことが判明
令和5年10月26日（木）19時頃	入札者6者に対し、本件入札が取消となることを説明し、謝罪
令和5年10月26日（木）	本件委託の入札取消

4 原因

- 開札の際、入札書を出した後に入札箱が空になっているか目視による確認が不十分で、入札書が入札箱に残っていることに気が付きませんでした。
- 入札書について、「財務事務の手引き」に則り入札書を並べて目視により確認しましたが、1件ずつの金額の確認が不十分で価格を見誤っておりました。

5 再発防止策及び今後の対応

今回の事案を踏まえて、契約事務マニュアル等を再確認した上で手順書とチェックリストを見直し、改めて入札手続を行う前には、開札時の流れを具体的に想定したシミュレーションを行います。入札及び開札の際には、複数人でチェックリストを用いながら1件ずつ指差確認を行うなど、開札時のダブルチェックを徹底します。

なお、局内の会議や経理担当者研修において、入札事務処理ミス防止事例を紹介し、注意喚起を行います。

お問合せ先

教育委員会事務局学校計画課担当課長 大塚 俊昭 Tel 045-671-4027